福　議　委　号
令和　６年１１月７日

福島町議会議長　溝部　幸基　様

総務教育常任委員会
委員長　藤山　　大

所管事務調査報告書の提出について

令和６年９月１８日福島町議会定例会９月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第１４８条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	４　行政評価（事務事業評価）について
調査期間	令和６年１０月２４日
出席委員	委員長　藤山　　大　　副委員長　熊野　茂夫 委　　員　杉村　志朗　　委　　員　木村　　隆 委　　員　平野　隆雄　　委　　員　溝部　幸基
委員外議員	議　　員　佐藤　孝男
出席説明員	なし
議会事務局職員	事務局長　鍋谷　浩行　　係　　長　山下　貴義

［委員会意見］

調査事件４　行政評価（事務事業評価）について（令和６年１０月２４日調査）

町では、まちづくり基本条例第20条第２項の規定に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和５年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例第10条の規定による決算説明資料として議会に提出した。

議会では、議会のチェック機能の強化と併せて、翌年度への予算へ反映させることを目的に、議会としての評価を実施した。

評価方法と結果、来年度に向けての検討については、次のとおりである。

【評価方法】

福島町行政事務事業評価要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した４段階評価を行い、所管常任委員会毎に評価を示し、総合的な説明を加えた。

【評価結果】

総務教育常任委員会が所管する３９件の行政評価の結果は、次のとおりである。

「◎」十分評価できる　　：　１件
「○」概ね評価できる　　：３８件
「△」やや不足している　：　０件
「▲」不足している　　：　０件

【来年度の評価に向けての検討】

評価は、項目別点数による現状把握が基本であり、一・二次評価で安易に評価をあげるべきではなく、改善策を対策として示す評価方式であり、

現在の予算重視の評価方法では、適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした事業重視の評価方法に変更する等、評価方法全般の改善を検討されたい。

施設関連事業（製氷貯氷施設、吉岡温泉、岩部クルーズ　等）については、指定管理制度による運営や管理運営費のみであっても行政評価の対象にすべきと思慮するので、評価項目全般の見直しについても検討されたい。

シート記載文の誤りがあり、起案・決裁における確認・校正を徹底されたい。

活動指標・成果指標における数値については、要因を加味し検討されたい。

議会による行政評価（事務事業評価）結果表

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性＋有効性	達成度＋効果性	項目別点数評価	一次評価	二次評価	最終評価	評価	説明
No.1 情報公開	6	3	A	A	A	A	◎	引き続き町民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No.2 職員研修	5	2	A	A	A	A	○	知識・接遇・専門的研修等の質的向上を図るとともに、職員の視野を広げるため全国市町村国際文化研修所等への研修参加も積極的に検討願いたい。
No.3 車両管理	4	2	A	A	A	A	○	各車両の整備点検を進め、今後とも適切な管理・運用を進められたい。運転者への事故防止の指導徹底に努められたい。
No.4 交通安全対策	5	2	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の更なる工夫を図られたい。
No.5 町民運動対策（青少年外）	5	3	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努められたい。
No.6 インターネット事業	5	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No.7 ホームページ管理	5	2	A	A	A	A	○	統計資料等の基本的事項や事務事業評価の発信、各課行事予定等の日々の更新等に抜本的な対策を図られたい。
No.8 生活館等管理	6	2	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、施設維持等適切な措置と有効活用を期待する。
No.9 災害対策	7	2	A	A	A	A	○	戸別受信機の適切な利用を周知徹底し、良好な状態を保つため継続的なメンテナンスが必要。
No.10 町内会連合会助成	7	2	A	A	A	A	○	少子高齢化が進行する中、住民参加を目指した住民活動の統一的な組織展開を検討されたい。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性＋有効性	達成度＋効果性	項目別点数評価	一次評価	二次評価	最終評価	評価	説明
No.11 文書広報	6	3	A	A	A	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努め、ちらしの集約化等を検討されたい。
No.12 ふるさと応援基金運営	7	2	A	A	A	A	○	ふるさと納税寄附者の取り込みを更に進められたい。
No.13 産業活性化サポート事業	4	3	A	A	A	A	○	新商品開発のため、専門の指導者や大学・関係機関等の活用についても支援されたい。
No.14 町民運動対策（コミュニティ）	7	3	A	A	A	A	○	全町的な運動展開はさらに厳しさが増すと思慮するが、しっかりした活動を期待する。
No.15 バス待合所管理	6	3	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。
No.44 教育関係団体・大会参加助成	8	4	A	A	A	A	○	各種団体等の状況、物価高騰による影響等に十分配慮し、助成事務を検討・執行されたい。
No.45 高校魅力化推進事業	7	0	B	A	A	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.46 青少年交流センター整備事業	8	1	B	A	A	A	○	適切な生活指導と施設管理を望む。町・小中学校等のイベント等による町民との交流を積極的に推進されたい。
No.47 友好市町交流事業	4	3	A	A	A	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流の展開を期待する。
No.48 ＡＬＴ招致	7	5	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.49 児童生徒輸送	9	1	B	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.50 奨学資金貸付	7	4	A	A	A	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No.51 教育用コンピュータ等整備事業	6	2	A	A	A	A	○	タブレット等の更なる有効活用を図られたい。
No.52 教員住宅管理	5	2	A	A	A	A	○	引き続き適切な維持管理に努められたい。
No.53 小学校管理	10	2	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性＋有効性	達成度＋効果性	項目別点数評価	一次評価	二次評価	最終評価	評価	説明
No.54 中学校管理	10	2	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.55 学校給食センター	7	2	A	A	A	A	○	米等の地元食材の活用拡大に更なる努力を求める。
No.56 社会教育総務	5	2	A	A	A	A	○	社会教育の現状を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.57 読書活動	8	3	A	A	A	A	○	より町民に親しまれるよう図書管理システムの有効活用と図書司書の配置を期待する。
No.58 成人教育	5	1	B	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No.59 青年教育	4	3	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を期待する。
No.60 少年教育	6	1	B	A	A	A	○	福島学ジュニアなどの事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No.61 芸術・文化	5	3	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No.62 文化財保護	5	2	A	A	A	A	○	学芸員を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No.63 保健体育総務	4	2	A	A	A	A	○	保健体育の現状を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No.64 総合体育館運営	5	3	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No.65 町民プール運営	6	2	A	A	A	A	○	町民プールの適切な管理、有効活用を進められたい。
No.66 ファミリースポーツ公園管理	5	0	B	A	A	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進する事業等、利用拡大を検討されたい。
No.67 福祉センター運営	6	2	A	A	A	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。